

第38期 中間

ビジネスレポート

平成21年4月1日～平成21年9月30日



 **ワイエishi 株式会社**

東証1部 証券コード:6298



株主の皆様へ 2

財務ハイライト 過去3年間の
業績推移(連結) 3

営業状況 4

中間連結財務諸表 5~6

会社概要 7

株主メモ 裏表紙



代表取締役社長
百瀬 武文

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃のご理解とご支援に対し心より御礼申し上げます。

今年度の上半期における経済状況につきましては、最悪期は脱したものの、本格的な回復にほど遠い状況にあり、特に当社が関係する設備投資関連の装置受注は厳しい状況が継続しております。

このような環境下、当社では、新たなビジネス展開として、本年5月に事業買収により太陽電池製造装置分野に参入するなど、環境関連のビジネスに資源を重点投入しております。一方既存事業では、差別化によるシェアアップ、取扱製品の増加、グローバル展開、消耗品サービスの拡大を戦略に掲げ、新規事業と併せ、規模の拡大、高収益企業体質の構築に努めております。

今後とも当社は、研究開発型企业として、ハイテク関連事業を中心に「環境にやさしい装置」の開発に努めてまいります。

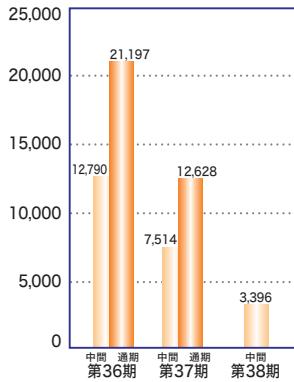
株主の皆様にはおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結)

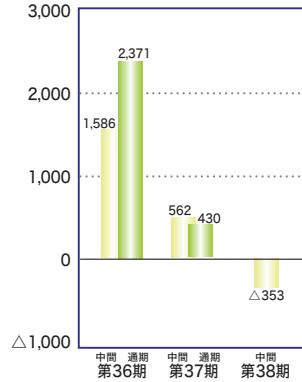
売上高

(単位:百万円)



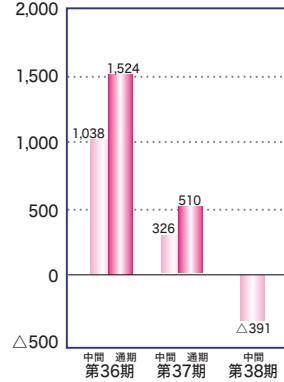
経常損益

(単位:百万円)



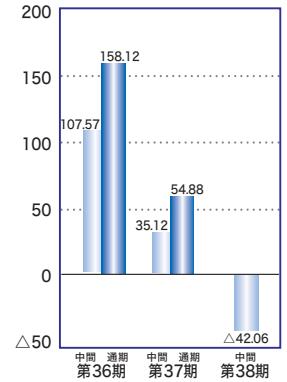
当期純損益

(単位:百万円)



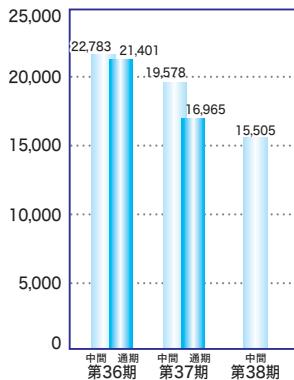
1株当たり当期純損益

(単位:円)



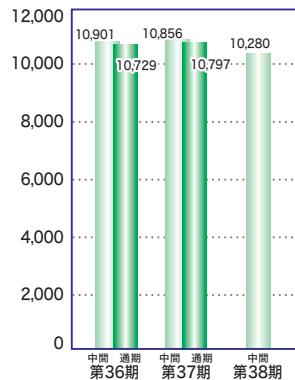
総資産

(単位:百万円)



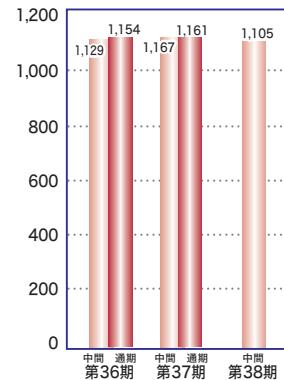
純資産

(単位:百万円)



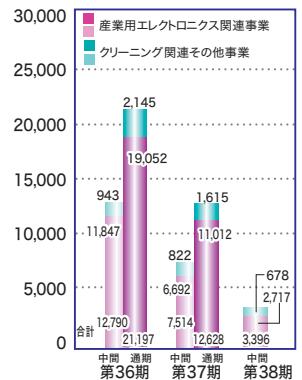
1株当たり純資産

(単位:円)



部門別売上高

(単位:百万円)



■ 事業概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、内外の在庫調整の進展や海外経済の改善を背景とした輸出、生産の増加などから、昨年度末を底に緩やかな回復基調にあります。但し、各種経済指標は、内外経済対策による輸出や耐久消費財等の牽引力は弱まりつつあり、増産が続いているとはいえ設備稼働率は低水準にとどまり、設備投資の大幅な増加は当面望めない状況を示しております。

このような状況下におきまして、当社グループは「高収益企業文化の構築と規模の拡大」の実現をめざし、受注獲得及び収益の増大に鋭意努めてまいりました。しかしながら当第2四半期連結累計期間におきましては、市場低迷に伴う顧客企業の設備投資の減少及び先送り等の厳しい受注環境にあつて、売上高は33億96百万円(前年同期比54.8%減)となりました。また、損益面では、営業損失3億4百万円(前年同期は営業利益5億30百万円)、経常損失3億53百万円(前年同期は経常利益5億62百万円)、四半期純損失は3億91百万円(前年同期は四半期純利益3億26百万円)と、当第2四半期連結累計期間はそれぞれ前年同期を下回ることとなりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

A. 産業用エレクトロニクス関連事業

産業用エレクトロニクス関連事業のセグメントでは、大口の液晶製造装置売上が少なかったこと、及び顧客企業の企業再編に伴う設備投資の延期、在庫調整による設備投資の抑制等の要因により、売上高は低水準な結果となりました。この結果、同関連事業の売上高27億17百万円(前年同期比59.4%減)、営業損失92百万円(前年同期は営業利益8億16百万円)となりました。

B. クリーニング関連その他事業

クリーニング関連その他事業のセグメントでは、景気が低迷するなかにあつて、サービス部門の再編、消耗品販売の強化等をはかり、売上高の確保に努めました。この結果、売上高は6億78百万円(前年同期17.5%減)、営業利益38百万円(前年同期は営業利益25百万円)となりました。

■ 経営戦略の現状と見直し

当社グループを取り巻く環境は、景気悪化の底入れ感とともに、一部企業での業績の上方修正発表も見られますが、大方の企業の設備投資は収益の悪化や設備過剰感の高まりを背景に抑制が続き依然として厳しい状況にあります。このような状況下、当事業年度におきましては受注獲得を最優先課題と位置づけるとともに、事業コストの削減(粗利率向上)、経営コストの削減(固定費圧縮)、社員の意識改革を実施し、企業体質の強化に努めております。加えて、景気回復後の一層の成長を果たすべく、主力製品の差別化によるシェアアップ、取扱商品の増加、グローバル展開の加速化、サービス・消耗品売上の拡大を図っております。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | |
|---------------|----------------------|----------------------|
| | 当期中間 平成21年9月30日現在 | 前期中間 平成20年9月30日現在 |
| 【資産の部】 | | |
| 流動資産 | 11,979 | 16,459 |
| 現金及び預金 | 5,038 | 5,724 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,305 | 6,512 |
| たな卸資産 | 2,359 | 3,901 |
| 繰延税金資産 | 147 | 173 |
| その他 | 129 | 151 |
| 貸倒引当金 | 0 | △4 |
| 固定資産 | 3,525 | 3,119 |
| 有形固定資産 | 2,950 | 2,813 |
| 建物及び構築物 | 482 | 521 |
| 機械装置及び運搬具 | 12 | 16 |
| 工具、器具及び運搬具 | 379 | 221 |
| 土地 | 2,042 | 2,042 |
| リース資産 | 33 | 11 |
| 無形固定資産 | 107 | 95 |
| のれん | 96 | 82 |
| その他 | 11 | 13 |
| 投資その他の資産 | 467 | 210 |
| 投資有価証券 | 202 | 163 |
| 繰延税金資産 | 221 | — |
| 長期滞留債権等 | 40 | 34 |
| その他 | 53 | 66 |
| 貸倒引当金 | △50 | △54 |
| 資産合計 | 15,505 | 19,578 |

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | |
|----------------|----------------------|----------------------|
| | 当期中間 平成21年9月30日現在 | 前期中間 平成20年9月30日現在 |
| 【負債の部】 | | |
| 流動負債 | 2,635 | 6,022 |
| 支払手形及び買掛金 | 1,571 | 4,215 |
| 短期借入金 | 664 | 657 |
| 1年以内償還予定社債 | — | 300 |
| 未払法人税等 | 26 | 256 |
| 未払費用 | 195 | 261 |
| 賞与引当金 | 108 | 113 |
| その他 | 67 | 219 |
| 固定負債 | 2,589 | 2,699 |
| 社債 | 1,000 | 700 |
| 長期借入金 | 1,069 | 1,434 |
| リース債務 | 27 | — |
| 繰延税金負債 | 75 | 138 |
| 退職給付引当金 | 418 | 426 |
| 負債合計 | 5,224 | 8,722 |
| 【純資産の部】 | | |
| 株主資本 | 10,476 | 10,870 |
| 資本金 | 2,756 | 2,756 |
| 資本剰余金 | 3,582 | 3,582 |
| 利益剰余金 | 4,513 | 4,907 |
| 自己株式 | △376 | △376 |
| 評価・換算差額等 | △196 | △13 |
| その他有価証券評価差額金 | 4 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | △200 | △14 |
| 純資産合計 | 10,280 | 10,856 |
| 負債純資産合計 | 15,505 | 19,578 |

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期中間 | 前期中間 |
|-------------------------------|----|--------------------------|--------------------------|
| | | 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日 | 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日 |
| 売上高 | | 3,396 | 7,514 |
| 売上原価 | | 2,775 | 5,864 |
| 売上総利益 | | 621 | 1,650 |
| 販売費及び一般管理費 | | 925 | 1,120 |
| 営業利益又は営業損失(△) | | △304 | 530 |
| 営業外収益 | | 24 | 67 |
| 営業外費用 | | 72 | 35 |
| 経常利益又は経常損失(△) | | △353 | 562 |
| 特別利益 | | 5 | 13 |
| 特別損失 | | 1 | 0 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | | △349 | 576 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 4 | 225 |
| 法人税等調整額 | | 37 | 24 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | | △391 | 326 |

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科目 | 期別 | 当期中間 | 前期中間 |
|------------------|----|--------------------------|--------------------------|
| | | 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日 | 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 188 | 3,444 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △328 | △4 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △102 | △2,363 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | △62 | 20 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | | △305 | 1,097 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 5,344 | 4,621 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | | 5,038 | 5,718 |

〔キャッシュ・フローの状況〕

現金及び現金同等物の当四半期連結会計期間末における残高は、50億38百万円となり、前連結会計年度末と比べ3億5百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1億88百万円の獲得(前年同期は34億44百万円の獲得)となりました。その主な要因は、法人税等の還付額収入2億19百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3億28百万円の使用(前年同期は4百万円の使用)となりました。その主な要因は、事業譲受による支払2億60百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、1億2百万円の使用(前年同期は23億63百万円の使用)となりました。その主な要因は、配当金の支払92百万円等によるものです。

■ 会社の概要 (平成21年9月30日現在)

| | |
|------|--------------------|
| 商号 | ワイエイシイ株式会社 |
| 英文表示 | Y.A.C.CO.,LTD. |
| 本社 | 東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号 |
| 設立 | 昭和48年5月11日 |
| 資本金 | 2,756百万円 |

| | | |
|---------|-----------|--------|
| 役員・執行役員 | 代表取締役社長 | 百瀬 武文 |
| | 常務取締役 | 佐藤 康男 |
| | 常務取締役執行役員 | 伊藤 利彦 |
| | 常務取締役 | 宮本 忠泰 |
| | 取締役執行役員 | 和田 貢 |
| | 取締役執行役員 | 大福 芳弘 |
| | 取締役執行役員 | 副島 幸雄 |
| | 常勤監査役 | 御幡 公夫 |
| | 監査役 | 勝間田 武司 |
| | 監査役 | 市原 聖功 |
| | 執行役員 | 西原 宗久 |
| | 執行役員 | 曾根田 栄悦 |
| | 執行役員 | 寺本 和政 |

従業員数 183名(出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)

事業内容 次あげる自動機械の設計・製造・販売ならびに装置開発を行っております。

●産業用エレクトロニクス関連事業

液晶用プラズマドライエッチング装置／ロジックハンドラー／
熱処理炉／ハードディスク用各種精密研磨装置／
ハイクリーンコンベアシステム／平面発光ランプエミッター／
太陽電池製造装置

●クリーニング関連その他事業

包装機／立体包装機／シャツ・ウール用プレス機／
全自動立体分配システム

| | | |
|--------|---------------|------|
| 主要取引銀行 | 株式会社りそな銀行 | 立川支店 |
| | 株式会社みずほ銀行 | 立川支店 |
| | 株式会社三井住友銀行 | 昭島支店 |
| | 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 立川支店 |

会計監査人 新日本有限責任監査法人

■ 株式の状況 (平成21年9月30日現在)

| | | |
|----------------|------------------------|-------------------|
| 1.会社が発行する株式の総数 | 34,388,000株 | |
| 2.発行済株式の総数 | 9,674,587株 | |
| 3.当期末現在の株主数 | 5,420名 | |
| | 個人・その他 ^(注1) | 5,273名 7,286,255株 |
| | 法人 | 52名 103,700株 |
| | 金融機関 | 29名 1,331,400株 |
| | 証券会社 | 32名 202,725株 |
| | 外国法人等 | 34名 750,507株 |

4.大株主(上位10名)

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|---|-------------------------|---------|
| | 持株数(千株) ^(注2) | 出資比率(%) |
| 百瀬 武文 | 1,491 | 15.4 |
| ワイエイシイ株式会社 | 376 | 3.8 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 323 | 3.3 |
| ピービーエイチ フォー フィテリティー ロープライス ストック ファンド | 300 | 3.1 |
| ゴールドマンサックスインターナショナル | 206 | 2.1 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 197 | 2.0 |
| 野村證券株式会社 | 101 | 1.0 |
| ピーエビー パバ セキュリテーズ サービス ルセンブルグ ジャステック セキュリテーズ | 63 | 0.6 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3) | 61 | 0.6 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 61 | 0.6 |

(注1)従業員・自社名義株式を含みます。(注2)株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

■ ネットワーク (平成21年9月30日現在)

| 名称 | 所在地 |
|-------------------------------|------------|
| 本社・本社工場 | 東京都昭島市 |
| テクニカルセンター | 東京都昭島市 |
| 昭島第二工場 | 東京都昭島市 |
| プラズマシステム山梨工場 | 山梨県南アルプス市 |
| 半導体事業部 | 熊本県菊池郡 |
| 太陽電池事業部大分工場 | 大分県大分市 |
| 大阪営業所 | 大阪府大阪市 |
| ワイエイシイ新潟精機株式会社 | 新潟県妙高市 |
| HYAC Corporation | 米国カリフォルニア州 |
| YAC Systems Singapore Pte Ltd | シンガポール |
| 日商 微艾新股份有限公司 台湾分公司 | 台湾 |
| 日本微艾新株式会社上海代表处 | 上海 |

株主メモ

| | |
|--------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主確定基準日 | 3月31日、その他必要ある場合にあらかじめ広告する一定の日 |
| 公告の方法 | 当社ホームページに掲載(http://www.yac.co.jp) (やむを得ない事由が発生した場合は日本経済新聞に掲載) |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (お問合せ先) | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-7111(フリーダイヤル) |
| 1単元の株式の数 | 100株 |

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座がある証券会社にお申出ください。

なお証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。



〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10
TEL(042)546-1161(代表) FAX(042)546-1107
URL <http://www.yac.co.jp>